

# 伝統芸能

異色の顔合わせが実現



豊竹英大夫



桂雀松

文楽の豊竹英大夫と落語家の桂雀松による「義太夫と上方落語の会」が、三月十四日午後一時半(一部)、同五時(二部)の二回、東京・南青山の鍔仙会能楽研修所で開かれる。

英大夫はキリスト教信者で、独自の「ゴスペル文楽」を創始する

## 義太夫と上方落語融合 豊竹英大夫と桂雀松

出演者による対談も

など多方面で活躍する中堅の義太夫語り。

雀松は桂米朝事務所に所属、気象予報士の資格を持ち、正統派の上方落語の継承者。

一部は雀松の落語「どつらんの幸助」、英大夫の浄瑠璃、鶴沢清友の三味線で「桂川連理柵・帯屋の段(前)」。

二部は雀松「蔵丁稚」、英大夫、清友「仮名手本忠臣蔵・勘平腹切の段」。いずれも冒頭、出演者の対談がある。

5千、4千円、通し9千円。チケットは⑥06・4304・2426 (DESK HAN A)。(剣和彦)